

松井さん、市&ミュージアム20周年でメッセージ ～等身大パネルから音声発信～



お人柄記事

能美市唯一の名誉観光大使である松井秀喜さんから、市誕生20周年＆松井秀喜ベースボールミュージアム開館20周年を記念し、ボイスメッセージをいただきました。市内外の7か所に設置している等身大パネルの2次元コードから聞くことができます。（メッセージに続き、松井さんが声優出演する能美市PRCM2本も見られます。）

今回は特別にこちらの2次元コードからお楽しみいただけます！



▶「松井秀喜さんキャラクター等身大パネル」設置場所

市内…松井秀喜ベースボールミュージアム、根上総合文化会館、能美根上駅、市役所本庁舎、こくぞう里山公園交流館

市外…小松駅、小松空港

※このほか、松井さんの多大なるご協力を得て作成した「お人柄記事」も市ホームページで絶賛公開中です。こちらもぜひご覧ください。

**国際交流ひろばで多彩な催し
能美と世界がつながる一日に**

10月19日、辰口福祉会館で「国際交流ひろば」が開催され、約900名が多彩な催しを満喫しました。

世界のファッショショーンでは、老若男女が色彩豊かな民族衣装姿で舞台に勢ぞろいし、外国人カラオケでは出場者が祖国の民族音楽や日本の演歌を踊りや

10月18日、物見山テニスコートで、ソフトテニス教室を開催しました。

ヨネックスソフトテニスチームで活躍中の小林愛美選手が市内中学校ソフトテニス部員ラケットの振り方を実演する小林愛美選手

た。



ヨネックスソフトテニス教室 トップレベルの選手が市内中学生を指導



10月18日、物見山テニスコートで、ソフトテニス教室を開催しました。ヨネックスソフトテニスチームで活躍中の小林愛美選手が市内中学校ソフトテニス部員ラケットの振り方を実演する小林愛美選手

100人を指導しました。当日はストロークやサーブなどの基本動作の練習を行ったほか、トップレベルのサーブやスマッシュが披露され、会場は熱気にあふれていました。

市内中学生代表が沖縄県恩納村訪問を報告

更なる交流に向け、事業の振り返り

10月20日、市防災センターで、9月に沖縄県恩納村を訪問した市内3中学校2年生代表による派遣団が成果報告をしました。

派遣団は3泊4日の行程で恩納村の文化や歴史、自然にも触れ、沖縄科学技術大学院大学（OIST）では最先端の研究や科学技術を学ぶなどの研修を行いました。

報告会のオープニングでは、市消防職員が



うんな中学校やOISTとの交流に関する報告を行った生徒たち

沖縄にちなんだ楽曲の演奏を行い、報告はテーマ別に4グループに分かれ、訪問時は宿泊施設、帰県後はオンラインで準備した成果を下級生や保護者に披露しました。また発表後は思い出のスライドショーが上映され、恩納村に思いを寄せました。

キャリア教育「ようこそ先輩」桂空治さん講演会「らぐらーくつて なに?」

10月21日、根上総合文化会館で市内の中学1年生を対象とした「よこそ先輩」講演会を開催しました。今回は落語家の桂空治さん（辰口中卒業生）にご講演いただきました。桂さんは「落語は想像力で楽しめます」と伝えました。

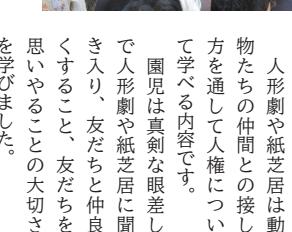
桂さんは「落語は想像力で聞く。それは人間にしかできないこと」

「働くにあたって粘り強く



くやり続けるという、我慢できる力を高めてほしい」と伝えました。

「寿限無（じゅげむ）」では、想像力で楽しめます。桂さんは「落語の面白さを実感したとともに、郷土の先輩が落語家として努力し活躍していることを見たとき、生徒たちが誇りに思える貴重な機会となりました。

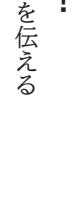


能美市企業ガイドンスを開催！

市内企業27社が参加、自社で働く魅力を伝える

10月24日と25日、根上総合文化会館で、ハローワーク小松とともに「能美市企業ガイドンス」を開催しました。このガイダンスは、市内企業との出会いの場を提供し、市内の魅力的な企業の仕事内容や労働環境を知つても

らうことで、企業のP



Rと人財確保支援を目的としています。

24日は、県内5校の高校2年生約400名が授業の一環で参加し、大変にぎわいました。各企業は全体PRや個別ブースでの説明を通じて、働く魅力をアピールしました。

地域づくり活動に興味や関心のある方、鶴来高校生など約60名が参加しました。基調講演では関係人口の重要性や受け入れ体制の整備などを学び、その後参加者が置かれている現状や課題についてグループごとに話し合いました。参加者は積極的に意見を交わし、今後の活動について互いにアドバイスをしていました。

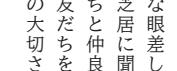
市内「じども園」で人形劇・紙芝居上演

人形劇・紙芝居で人権を考える

10月21日から11月20日にかけて、小松人権会の人権擁護委員が市

会のこども園を訪問し、人権人形劇や大型紙芝居を上演しました。

人形劇や紙芝居は動物たちの仲間との接し方を通して人権について学べる内容です。



園児は真剣な顔差しで人形劇や紙芝居に聞き入り、友だちと仲良くすること、友だちを思いやることの大切さを学びました。

ツエーゲン金沢ホームタウンサンクスデー

観戦者に能美市をPR

11月2日、金沢ゴーカレースタジアムで、明治安田J3リー

ゴーカレースタジアム

登場し会場を沸かせま

した。

スタジアム前に出店

した市PRブースでは

加賀押しづし研究会が

わ、市民約400人

が無料招待されました。

試合前に井出市長の

激励の言葉とともに市

始前に完売するほど来

場者でぎわいました。

「能ん」「ゆずめん」が



収穫した丸いものを披露する園児たち

福岡保育園の園児が加賀丸いものを収穫

市の特産物を育て 食の大切さを学ぶ

10月24日、福岡保育園の年長組（きぐぐみ）

24人が中庄町の畑で加賀丸いもの収穫作業を

体験しました。

この体験は中庄町丸いも娛樂会が毎年企画し、園児たちが市の特

産物である加賀丸いもの収

穫作業を通じて食の大

切さを学ぶのです。

「中庄町丸いも娛樂会」の本忠義さんから掘り方の説明を受けた園児たちは加賀丸いもを歓声を上げながら掘り起こし、春の種芋植え付けから大切に育ててきた加賀丸いもの収穫を喜んでいました。

金沢ポート卓球教室

市内卓球部員を指導

11月3日、根上体育館で、卓球教室を開催しました。

TRI-LEAGUE加盟のプロ

卓球チーム金沢ポート

応援団長の「かわニャン」こと川村亮介さん

が市内卓球部員（クラブ員）12人を指導しました。



ラケットの振り方を実演する川村さん

いしかわ地域づくり円陣2025

関係人口を呼び込み、持続可能な地域へ



11月2日、辰口福祉会館で、石川地域づくり協会が「人づくり・関わりづくり」をテーマにシンポジウムを開催しました。地域づくり活動に興味や関心のある方、鶴来高校生など約60名が参加しました。基調講演では関係人口の重要性や受け入れ体制の整備などを学び、その後参加者が置かれている現状や課題についてグループごとに話し合いました。参加者は積極的に意見を交わし、今後の活動について互いにアドバイスをしていました。



個別ブースで参加者に自社を紹介する企業

